



**JAPAN RUGBY
FOOTBALL UNION**

2026年2月吉日

自治体ワンチーム会長
山中 竹春 様

「男子ラグビーワールドカップ 2035 大会」招致実現に向けた
ご協力をお願い

(公財) 日本ラグビーフットボール協会
会長 土田 雅人

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素より当協会の事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は、国際競技連盟であるワールドラグビーに対して、男子ラグビーワールドカップ 2035 大会を日本で開催したいとする意向を伝え、同大会の招致に立候補いたしました。

当協会が、この 2035 年大会の招致を通じて世界へ発信したいメッセージは、「NO SIDE SPIRIT」です。戦いが終われば敵味方なくお互いを称え合う、日本ラグビーに深く根付いたこのノーサイドの精神は、分断や格差が溢れる現代社会において、今こそ必要とされるものです。

私たちは、この「NO SIDE SPIRIT」という言葉を日本から発信し、世界中の人々が分かち合う合言葉にしたいと考えています。

2019 年大会の成功は、全国の自治体の皆様の並々ならぬご尽力と、地域に根差したラグビー熱があったからこそ成し得たものでした。2035 年大会の招致においても、自治体ワンチームが掲げる「ラグビーが世界一身近にある“まち”へ」という理念は、ワールドラグビーに日本開催の意義を提示する上で、極めて重要な鍵となります。

つきましては、2035 年大会の招致実現、そしてラグビーを通じたより良い社会の構築に向け、自治体ワンチームの皆様と強固な「スクラム」を組み、オールジャパン体制で突き進んでいきたいと考えております。招致活動への力強いご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具